

北海道原水協 F A X ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp

電話011(747)7557 fax011(747)7537 2015年5月18日

核兵器なくすのいつ? 今でしょ!

■札幌平和行進■



(幹線コースに畠山和也衆院議員が飛び入り参加・右から二人目) べ700人以上が歩きました。

NPT・NY 行動に参加した伊藤賢太さん(北海道勤医労・上の写真右から3人目)は、国際青年リレーのタスキをかけて野幌百年記念塔から中島公園までトランペットを吹きながら歩きました。中島公園で行われた全体集会で「自分の2歳の娘だけでなく世界中の子供たちに核兵器のない世界を。未来を担うバトンを引き継いでいきたい」とNY行動の報告と決意を語りました。

16日(土)朝10時に江別原水協から引き継いだ札幌平和行進は、野幌百年記念塔からスタートしました。

核兵器のない世界、戦争する国づくり許さない、憲法守れの思いをピースコールに、シュプレヒコールに託して市民にアピールしました。

札幌北コース、札幌西コースも中島公園めざして、寒さにも負けずの



レッドアクション!! 新婦人北海道本部から7名が幹線コース・21キロを歩きとおしました(写真左)。新婦人の旗は赤ですが、お揃いの赤い装い、首には『NO NUKES!』の原水協のタオルマフラー、道行く市民にアピール。自分たちの住んでいる町から歩きたいと取り組みを始めた清田コース(50人参加)、豊平コース(100人参加)、手稲コース(100人参加)の独自コース、平和の思いをタペストリーはじめ、創意工夫して参加しました。清田コースと豊平コースは幹線コースに、手稲コースは札幌西コースに合流しました。

原爆の火を守る募金 20,875円寄せられる

中島公園の終結集会で、原爆の火を守る会の相馬述之さんが1989年から西区日登寺で燃え続けている原爆の火について紹介し、核廃絶を願うシンボルとしてその維持のための募金を訴えました。(写真中央の女性が持っているランプに原爆の火が)

